

「図書館ができること」

冬に入り、風邪気味だからでしょうか、図書館を訪れる方もマスクをしながら本を探されています。

この時期に興味深いニュースがありました。病状の軽い人であれば病院に行かず市販薬で治すことを促し、医療費の増大を抑える事を目的とした来年度の税制改正の方針が決まりました。現在市販薬の購入費は、医療機関受診時の医療費と合わせて年間 10 万円以上支出すれば、手続きを要しますが、所得から引かれる事になっています。ただ、10 万円以上という医療費は家庭によってなかなか到達する金額ではありませんよね。新しい制度では、購入額が 1 万円以上の場合該当しますので、多くの家庭が助かるのではないのでしょうか？

とあるニュースでは年末年始、胃腸薬だけでほぼ 1 万円に達してしまうとサラリーマンが笑顔でインタビューに答えていました。

ここで課題とされるのは、薬局で自分の症状を的確に判断し、薬品を選択することができるか、この税制改正によって、本当に医療費を削減することができるか・・・。

課題は色々あると思いますが、その一助に図書館がなることができれば良いなと思います。私たちは医療の専門家ではありませんが、医療の新しい仕組みや病状のヒントを得るお手伝いをし、図書館に来られた方達に医療の知識を更に深めてもらうことは、社会全体にメリットがあると思います。

正しい知識や情報を得る事は現在なかなか難しいです。それは、膨大な情報の中から本当に必要な情報を取捨選択していく事にも、確かな知識やテクニックを必要とするからです。更に医療の分野というのは、日進月歩、新しい情報が次々に誕生しています。健康や医療に関する事で、第三者になかなか話づらい事もあるかと思いますが、図書館の職員をいわば道案内としてご利用頂き、ぜひ正しい健康の情報を日常生活に役立てて頂きたいと思います。 (H)